

# 長野県のツキノワグマ目撃及び人身被害の状況

長野県林務部森林づくり推進課

ツキノワグマの里地での目撃件数の推移

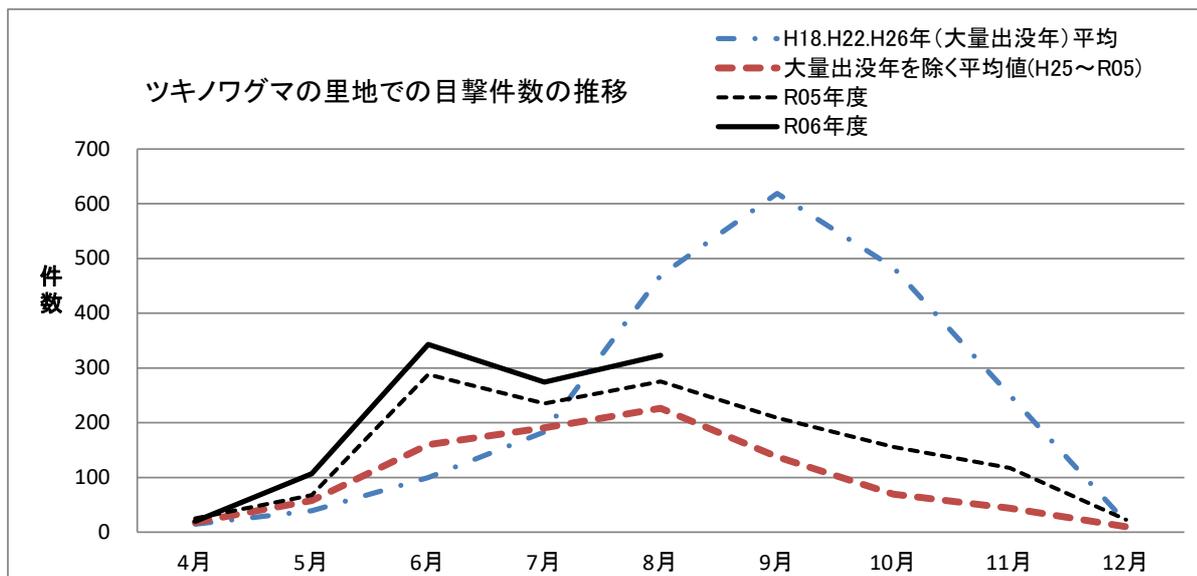
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 - 3月	4-3月 計	人身被害 件(人)
H18	22	27	108	252	817	909	751	434	42	-	3,362	16(18)
H22	8	38	112	159	327	535	269	139	4	-	1,591	14(14)
H25	14	41	84	89	147	85	12	4	0	-	476	3(3)
H26	14	52	79	138	263	413	430	177	9	-	1,575	31(32)
H27	25	47	134	142	177	37	12	8	0	0	582	6(6)
H28	12	60	137	163	171	118	87	31	6	1	786	9(9)
H29	11	20	91	151	152	128	22	20	3	2	600	6(7)
H30	22	92	183	158	182	55	23	18	9	7	749	5(5)
R01	18	64	196	291	334	207	125	68	16	13	1,332	8(8)
R02	16	50	151	264	411	309	126	86	14	10	1,437	12(12)
R03	16	78	210	266	205	116	83	62	20	3	1,059	16(16)
R04	20	56	124	147	211	113	50	26	9	14	770	8(8)
R05	25	68	288	235	275	209	156	117	23	10	1,406	11(12)
R06	20	107	343	274	323						1,067	10(11)

※人身被害は林内での発生も含む。

網掛けのセルは大量出沒年。

8月の目撃件数は速報値

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月 累計	人身被害 件(人)
H18. H22. H26年 (大量出沒年) 平均	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2,176	20.3(21.3)
大量出沒年を除く 平均値(H25~ R05)	18	58	160	191	227	138	70	44	10	914	8.4(8.6)
R05年度	25	68	288	235	275	209	156	117	23	1,396	11(12)
R06年度	20	107	343	274	323					1,067	10(11)



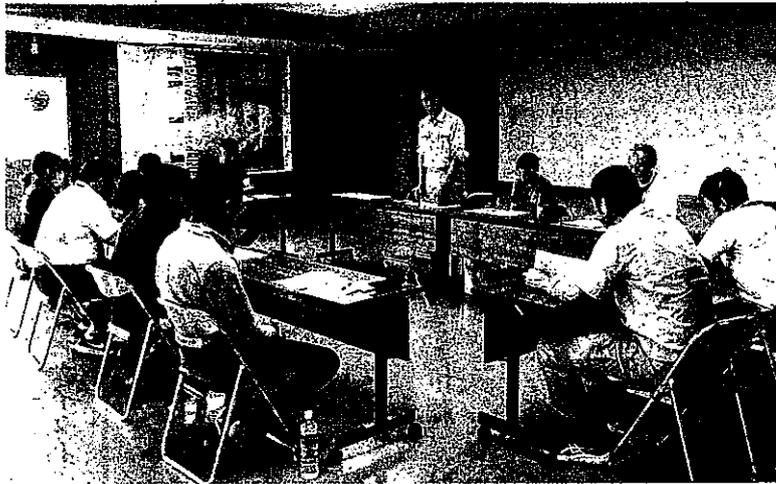
- ・平常年は、山のエサが少なくなり農作物が収穫を迎える8月が目撃件数のピークとなっている。
- ・大量出沒年では、8月から11月にかけて目撃件数が増加し、特に9月、10月が顕著に増加している。堅果類の豊凶の影響が推察される。

地域別の里地での目撃件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 - 3月	4-3月 計	人身被害 件(人)
佐久地域	1	8	20	24	40						93	1(1)
上田地域	0	3	1	4	3						11	0
諏訪地域	0	2	3	0	1						6	0
上伊那地域	0	0	20	17	20						57	1(1)
南信州地域	0	5	13	11	9						38	2(2)
木曾地域	1	36	91	61	55						244	0
松本地域	5	10	28	48	31						122	2(2)
北アルプス地域	1	22	69	40	45						177	2(3)
長野地域	2	9	54	26	34						125	1(1)
北信地域	10	12	44	43	85						194	1(1)
計	20	107	343	274	323						1,067	10(11)

# クマ出没続く懸念 注意喚起

## 県北ア地域振興局 人身被害受け緊急会議



クマによる人身被害を受けて緊急打ち合わせ会議が開かれた

松川村で5日にツキノワグマによる人身被害があったことを受け、県北アルプス地域振興局は同日、緊急打ち合わせ会議を大町市の県大町合同庁舎で開いた。大北地域の市町村職員などが出席。今後、平地でもクマの出没が続く可能性を懸念し、住民への注意喚起など対策を話し合った。

人身被害は5日午前7時前、松川村中部の観松院周辺で発生。近隣に住む67歳と88歳の女性がクマに襲われ、顔の骨を折るなど重傷を負った。会議には大北5市町村の鳥獣対策担当者や県が委嘱するクマ対策

県内では今月5日までに10件11人の人身被害が発生。目撃件数が多かった昨年5〜7月の591件（北アルプス地域は132件）に比べ、今年5〜7月には724件（北アルプス地域は131件）とさらに増加傾向にある。県は6月から発出していた「ツキノワグマ出没注意報」を先月末に11月14日まで期間延長することを決め、今後は警報への切り替えも検討している。▽クマが活発になるとされる朝晩の時間帯には1人で行動しない、▽音の出るものを身に着ける、▽クマを集落に引き寄せないために餌となる生ごみや取り残しの果物・野菜などを適切に処理する、▽見通しの良い環境をつくる、▽クマに出遭った場合は目を離さないようにしてゆっくり離れる、▽距離が近かったり鉢合わせた場合は首やお腹を守るように丸くなり立ち去るのを待つなどの対策を呼び掛けている。

北アルプス地域振興局林務課の藤澤淳一課長は「今年は、大量出沒したといわれる昨年以上回る勢いでクマが目撃され、被害も出ている。今後も平地に出沒する可能性があり注意が必要」と住民へ注意を促した。

員が出席し、人身被害の状況を確認しながら対応などを協議した。住宅が多い場所での出没したことから、山側からの侵入を防ぐためにクマ対策の柵の点検や、養蜂場周辺の電気柵設備の徹底などを確認した。

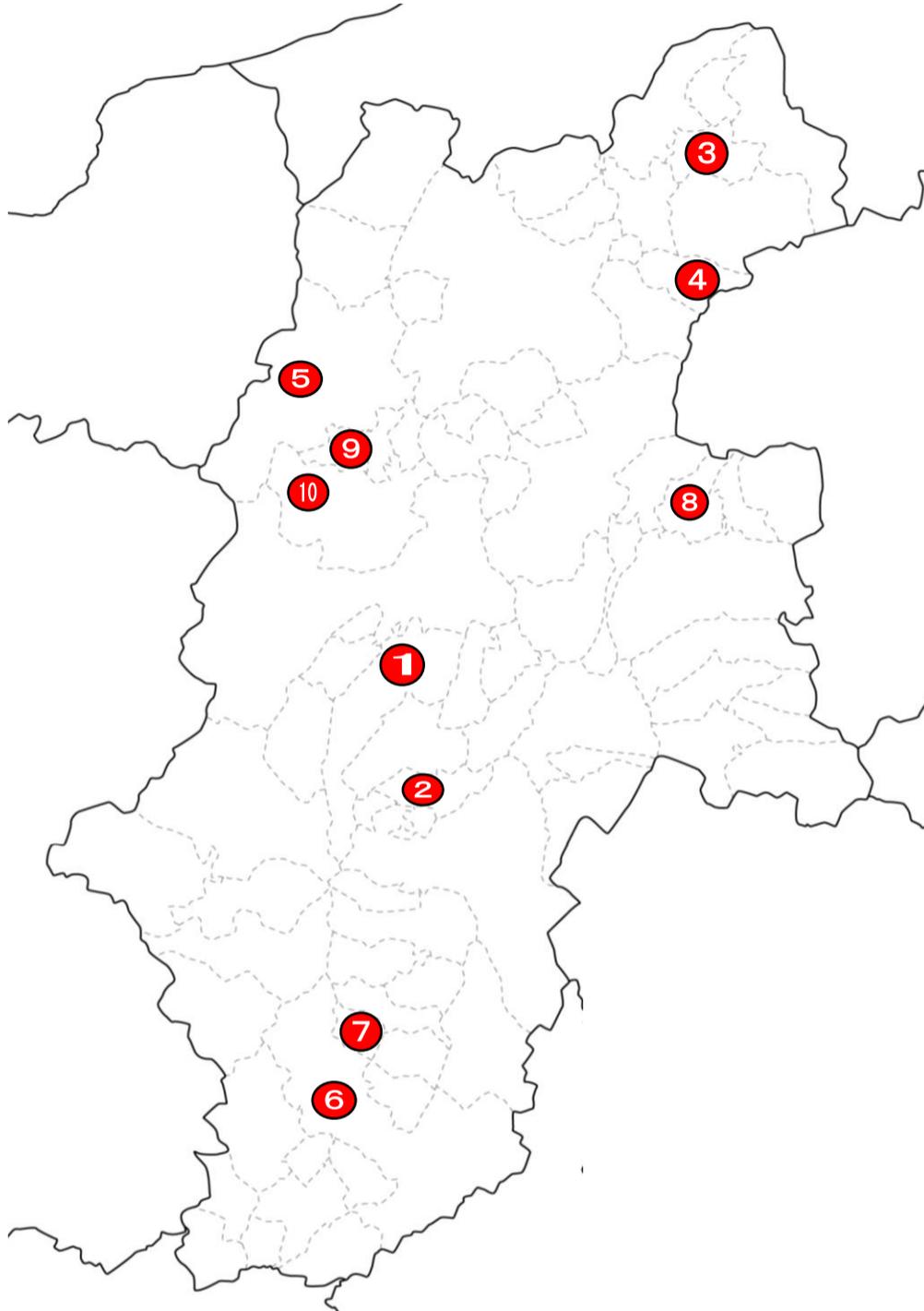
## ツキノワグマによる人身被害月別発生件数

R6.9.6現在

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月-3月	計	参考	
												9/5までの累計	内里地の累計
H18			2		4	5	3	2			16	7	4
H22		1	1		6	4	1	1			14	8	4
H25			1	1	1						3	3	1
H26		1	1		3	11	10	4	1		31	5	1
H27	1	2	1		1	1					6	5	1
H28		1			2	2	4				9	3	0
H29				2	1	2		1			6	3	1
H30					2		3				5	2	—
R1				2		3	2	1			8	2	2
R2			1		4	2	3	1		1	12	5	2
R3			2	1	5	5	2			1	16	9	3
R4	1				4	3					8	5	1
R5		2	2		3	1	1	2			11	7	1
R6			4	2	2	2					10	10	5

※大量出没年：H18、H22、H26

## 令和6年度 ツキノワグマ人身事故発生位置図 (9月6日現在)



## 1 人身被害発生一覧

番号	日時	場所	内容	被害者数	里地
①	6.1 7:00	塩尻市	錯誤捕獲対応	1	
②	6.2 16:45	箕輪町	散歩中	1	○
③	6.7 16:40	木島平村	登山中	1	
④	6.8 4:30	高山村	新聞配達中	1	○
⑤	7.23 13:30	大町市	登山中	1	
⑥	7.24 8:00	飯田市	散歩中	1	○
⑦	8.25 8:30	高森町	錯誤捕獲対応	1	
⑧	8.27 1:30	小諸市	散歩中	1	○
⑨	9.5 6:40	松川村	自宅付近	2	○
⑩	9.5 17:47	安曇野市	登山中	1	
計	11名(令和6年9月6日現在)			11	5

## 2 人身被害の発生状況

区分		員数
時間帯別	早朝(8時以前)	4
	昼間(8~15時)	3
	夕方(15~19時)	3
	夜間(19時以降)	1
	不明	-
内容別	山中(山菜・キノコ採り)	-
	山中(わな見回り、林地作業)	2
	山中(登山・散策)	3
	里地(散歩等)	6

# 令和6年度ツキノワグマ出没(目撃)マップ

